

補助事業番号 23-4-036

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災者や被災地域が自ら行う復興活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 農家のこせがれネットワーク

1. 補助事業の概要

(1) 事業目的

被災地の農家は、津波等により農地、設備が失われるなど、甚大な物理的被害を受け、そして、農業再生への目処が立たないことから、精神的に大きな負荷を負っていました。あまりの被害の大きさから、農業の継続を断念するといった精神状態にある方も多く見られました。このような農家に対し CSA 制度（Community Supported Agriculture）を活用した支援基金を設立し、短期的な資金調達の仕組みの構築を目指しました。また、定期的に交流イベント（バーベキュー、瓦礫撤去支援等）を開催することにより、支援者との信頼関係を深め、精神的なサポートにも取り組み、CSA 制度をベースとした農家復興支援モデルの形成を行いました。

(2) 事業内容

1. 先行支援事業の継続・充実：名取市及び白石市の農業者、ありが豚 高橋氏の復興支援、交流活動促進事業

2011年4月より募集を募った約1,000名の支援者を中心に、120名のメンバーを募集し、高橋氏の農場や近隣農家の復興支援交流バスツアーを実施しました。

【ツアー実施概要】

概要：ありが豚応援サポーターを中心に一般より参加希望者を募り、1泊2日でのツアーを実施いたしました。

東京よりありが豚（名取ファーム）の高橋希望さんに乗車いただき、震災地域の状況などをお話いただきました。その後、ワークショップとして、参加者自身が「今、自分が何ができるのかを考え」、瓦礫撤去などの作業支援のほか、高橋さんへツアー参加者全員からの応援コメントをドラム缶に印し、心的なサポートとしました。後日、作業の様子もDVDに編集し、高橋さんへ送付いたしました。

また、ツアー2回目、3回目では、瓦礫撤去が完了した区画に、新たな生命を植えるということで、チューリップの定植を行いました。

参加数：第1回目(10月1日～2日)：20名

第2回目(11月19日～20日)：30名

第3回目(12月3日～4日)：34名

合計：84名

【ツアー活動の様子】



①高橋さんのお父さんが津波より逃れるために一晩を過ごしたコンポストに登り、当時の状況についてお話を伺いました。



②現地作業リーダーの指示に従い、数名のチームに分かれて、瓦礫撤去を行いました。



③瓦礫撤去が進み、片付いてきた区画に高橋さんと一緒にチューリップを定植しました。



④作業終了後に、高橋さんと一緒にありが豚をBBQでいただき、交流を図りました。



※作業が進み、土が見えてきました。

* ツアーの様子については、当団体 blog もご覧ください。

[第1回目\(10月1日-2日\) ご報告](#)

[第2回目\(11月19日-20日\) ご報告](#)

[第3回目\(12月3日-4日\) ご報告](#)

2. 先行支援事業の検証と改善、名取・白石市におけるCSA制度の活用による農業者支援モデルの展開可能性検証事業

先行支援事業の成功要因を検証し、名取市、白石市の農業者への展開可能性について、現地ワーキンググループを立ち上げ、調査を行いました。その結果に基づき、CSA制度活用説明会も開催しました。

【概要】

当初、名取市・白石市を中心とした展開を検討していたが、アンケート調査による実情把握、本事業の効果を高め、より多くの農業者のサポートとするべく、対象地域を宮城県内全域とし、農業者32名より被災状況、復興状況について、アンケート回答を得ました。

本アンケートの結果、ならびに、現地実態調査を踏まえ、CSA制度の活用による農業支援者モデル構築に向け、

農業者を対象に説明会を2回開催しました。

【説明会について】

概要：アンケート調査に応じていただいた農業者、また当団体、宮城のこせがれネットワークなどの告知により集まっていた農業者に対して、CSA制度の概要説明、アメリカのCSA事例、ありが豚 高橋さんの先行事例などを紹介し、興味をもっていただいた農業者に対して、具体的なプラン設計を行いました。

参加数：第1回説明会(2012年2月13日)：13名
第2回説明会(2012年3月12日)：18名 合計31名

【活動の様子】



①ありが豚 高橋さんより現地の状況、必要としていることをヒアリングさせていただきました。



②CSA説明会に参加していただいた、巨理町の鈴木観光いちご園の鈴木さん。CSA制度を活用した苗オーナー募集を開始しております。



③NPO法人 FiveBrige との現状共有、現地調査などの打合せを行いました。



④復旧を終え、復興を始めている農業者を視察し、現状調査を行いました。



⑤ C S A 制度説明会の様子です。



⑥本事業担当の脇坂より、C S A 制度の概要説明、
ありが豚 高橋さんの事例を説明しています。

※ C S A 制度を活用した応援者募集を行っております。

[ありが豚 応援サポーター募集 \(募集サイト\)](#)

[鈴木観光いちご園 いちご苗オーナー募集 \(募集サイト\)](#)

2. 予想される事業実施効果

今回の補助事業は、これまで実績のあった宮城県を中心とした取り組みに留まってしまっていたが、興味を持っていただけている農業者からの連絡をいただいている状態です。今回のC S A説明会でいただいた率直な感想、質問、意見を勘案しながら、現状進行している、高橋氏、鈴木氏の状況を分析し、新たな農業者の応援策となるために取り組みを続けていきます。

3. 本事業により作成した印刷物

[被災地農家の被災状況 アンケート](#)

[復興支援被災者や被災地域が自ら行う復興活動 活動報告書](#)

4. 事業内容についてのお問い合わせ先

団体名 : 特定非営利活動法人農家のこせがれネットワーク (ノウカノコセガレネットワーク)

住所 : 106-0041 東京都港区麻布台 1-1-20 麻布台ユニハウス 401

代表者 : 代表理事 宮治 勇輔 (ミヤジユウスケ)

担当部署 : 事務局 藤井 貴之 (フジイタカユキ)

電話番号 : 03-5545-5376

F A X 番号 : 03-5545-5376

E-mail : info@kosegare.net

URL : <http://kosegare.net/>